

障害福祉サービス共通評価基準 概評 [各シート共通]

○概 評

①非該当とした項目（放課後等デイサービス、児童発達支援については「いいえ」とした項目）の説明、②独自に必要なと思われる評価項目等、③項目評価を通じて気づいた点などを記入してください。

非該当とした項目については、重度障害者や行動障害者の多い当施設（生活介護事業所・共同生活援助事業所）にそぐわない質問が多かった。ただ、生活介護や共同生活援助施設として評価を判断したわりにAの評価が多く、好意的な結果として受け取れた。望ましい結果となったが、今後も高評価な項目は特に継続して維持していきたい。自己評価を継続して行ってきたこともあり、課題や好意的な評価点を認識できたため、今後の支援や法人運営に効果的な寄与を与えられると思われる。

また、重度障害者等の多い当施設との意識に引っ張られることなく、利用者等の社会参加や地域での生活の模索を念頭に社会的機能等の獲得が学習できるよう支援プログラムの獲得やマニュアル作成や周知を図っていきたい。

一方、非該当や低評価等になった項目については、今後の法人運営の展開や地域貢献等を念頭に改善を検討していく。BCP（事業継続化計画）なども含め、法人単独で維持運営されているのではなく地域とともに育ち守っていくとの認識を持っておきたいと考える。

○サービスの質の向上に向けて取り組む課題

前回までの評価において、サービスの質の向上に向け取り組む課題を設定している場合はその内容と進捗状況を、また、新たに今回の評価によって今後取り組むべき課題がある場合も、その内容を記入してください。

関連する項目	内容および進捗状況	新規 継続 終了	取り組みの期間 (○年○月から○年○月まで)
1-(3)	虐待等が行われた場合の規定がないが、虐待防止委員会で規定マニュアルを作成していく。		R5,4～R6,3
1-(4)	以前は外泊システムを構築していたが、入居施設が定員になったため、停止中。新規ホーム設立後に、再稼働を目指していく。		R5,4～R6,3
4-(11)	買い物時、利用者自身が支払わず職員が代行していることが多い。		R5,4～R6,3
6-(2)	現時点では、ホームヘルプ等の在宅サービスは実施していない。ただ、将来構想年次計画には策定しており準備段階である。		R5,4～R7,3
8-(2)	事故や急病等を想定した訓練を実施していないが、事業所が増えることも踏まえ、看護師や地域医療機関の助言を求め計画していく。		R5,4～R6,3
8-(3)	法人単位での防災訓練を実施しているが、他機関との共同訓練は実施していない。他事業所との共同訓練を検討模索していく。		R5,4～R6,3